平成２４年度

科目名	人文科学Ⅰ Human Science Ⅰ			担当教員	権藤　典明		
学　年	４年	学　期	通　年	科目番号	09104	単位数	２
分　野	一　般	授業形式	講　義	履修条件	選択		

学習目標

目標区分（A-1）：倫理観－倫理観を育て社会貢献の意義を理解・表現できる。
（A-2）：広い視野－国際的観点から多面的な意見を述べられる。
（A-3）：技術者倫理－技術の発展の功罪，技術者の責任を述べられる。

現代世界が直面している人口問題と食糧問題、南北問題、資源問題と環境問題および都市問題について基本的な知識を身につけ、判断力を養うことを目標とする。

進め方

各自で各テーマの基本的な見解を解説していく。各テーマの基本的な資料や補足説明はプリントにして配布するので、よく読み、認識を深めてもらいたい。

学習内容

学習項目（時間数）	合格判定水準
１．人口問題と食糧問題(20) (1) 世界人口の動向 (2) 開発途上国の人口問題 (3) 先進国の人口問題 (4) 世界の食糧生産の動向 (5) 先進国の農業政策 (6) 戦後日本の農業と農業政策の変遷 ２．南北問題と世界経済(10) (1)南北問題の展開 (2)日本のＯＤＡ	人口問題、特にわが国の少子高齢化問題と外国人労働者の受け入れをめぐる問題についての基本的な事項を理解する。食料問題については、特にＷＴＯ体制下におけるわが国の食料需給について、基本的な事項を理解する。 現代の世界経済に影響をおよぼしている南北問題について基本的な事項を理解する。現在の世界経済については、世界貿易の特徴とＥＵ・ＮＡＦＴＡ・ＡＰＥＣについて基本的な事項を理解する。
前期末試験	
２．南北問題と世界経済(6) (3)世界貿易の動向 (4)地域統合の展開 ３．資源問題と環境問題(14) (1)資源問題とは (2)枯渇資源と再生資源 (3)地球環境問題とは (4)酸性雨 (5)オゾン層破壊 (6)地球温暖化 ４．都市問題(10) (1)現代の都市化 (2)インナーシティ問題 (3)ニュータウン	資源問題については、枯渇資源としての石油資源、再生資源としての水資源を通じて、資源問題に関する基本的な事項を理解する。環境問題については、酸性雨・オゾン層破壊・地球温暖化問題を通じて、これらの問題を考える際の基本的な事項を理解する。 現代日本の都市化現象、都市問題の一つとしてのインナーシティ問題、および都市計画の例としてのニュータウンについて、基本的な事項を理解する。
後期末試験	
試験返却(1)	

評価方法

評価は２回の定期試験の成績にもとづいて行う。成績不振者には再試験を実施する。
学習項目の全体評価への重みは、１～４のそれぞれについて 35%、25%、25%、15%とする。

関連科目

地理（１年）　→人文科学Ⅰ（４年）

教　材

プリントを配布する。

備　考